

K213-013

会場: 301A

時間: 5月16日 16:21-16:33

ISIS および ILL における高圧下中性子回折実験の現状

High Pressure Neutron diffraction experiments - Experiences in ISIS and ILL

小松 一生 [1]

Kazuki Komatsu[1]

[1] 東大院・理・地殻化学

[1] Geochem. Lab., Grad. School Sci. Univ. Tokyo

1990年代初頭にパリ大学のJ.M.Besson教授を筆頭とするパリ エジンバラグループによる高圧中性子回折実験が英国のパルス中性子施設 ISIS で始まってから15年以上が経過した。最近では、液体窒素温度から1000K程度までの温度での低温/高温高圧実験もルーチン化されるなど、着実に進展を遂げている一方で、30GPaを超えるような超高压下での実験には成功していない等課題もある。本発表では、J-PARCにおける高圧下中性子回折実験に向けて解決すべき課題を明瞭にするという観点から、エジンバラ大学のグループがISIS および ILL で行っている実験技術の概要について報告する。